

毛呂山町新保育園 事業化フロー(計画案)

平成19年度～平成22年度				平成23年度												平成24年度												平成25年度以降											
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	適用・管理											
庁内・議会	H19 保育所等庁舎内検討委員会	4回開催	子育て支援等検討委員会	10月																								町内外の視察対応											
	H20 保育所等検討委員会	3回開催		12月												9月												3月											
	H21 保育所等建設検討委員会	7回開催		議会全員協議会開催												議会建設現場視察												議会視察											
	H22 子育て支援等検討委員会	2回開催		庁内政策会議随時開催																																			
補助申請				12月																																			
				森林林業木材産業づくり交付金申請																																			
				2月																																			
				承認と内示																																			
				3月																																			
				補正予算計上(繰越明許対応)																																			
利用者 地権者 地域住民																5月 地域住民への説明会																							
																7月 保護者への説明会																							
設計・施工 ・管理				23.11.1～24.3.26 設計(委託)												5月 入札会(一括発注)												平成25年4月開園											
				2月												6月 工事請負契約の締結																							
				建築確認												3月												建設工事											
																												3月 移転準備											
木材調達				24.1～3 木材相談 見積り												24.7～9 製材、乾燥 ・特記仕様により県内産木材の指定												24.9 木材現場搬入 検収											

② 仮想企画案提言の成果

- ・ 仮想企画案の最大の主旨は、地域振興及びコスト低減等の観点から特殊な工法を採用するのではなく、極力、一般流通材を使い、地域に受け継がれてきた在来軸組み工法を前提とした構造計画とする点であった。そのため、準防火建築物扱いとせず柱・梁が「現し」となる木造らしいデザインを追及することを提言した。
- ・ この提言の主旨は、現在進められている設計のなかで基本方針として採用され、防火壁を設置し、準耐火建築物にしないことで、柱・梁を現しとする木造らしさを強調するデザインとなった。また、防火壁をより自然なかたちで埋め込むため、新たに、中庭スペースを確保してその部分で防火壁を確保するようプランが修正された。

(2) 対象建築物の設計段階における木材相談

① 木材相談の実施

- ・(仮称)毛呂山町新保育園は、平成24年3月末までに設計を完成させるべく、現在、基本設計の最終段階にあるが、本ワークショップにおいて2回にわたって、基本設計段階における木材相談を実施した。木材相談は、埼玉県においては初めての試みであるが、先進事例である鶴岡市の渡会悟建築課長の助言をいただき、基本的な枠組みを整理し実施することとした。

② 木材相談の概要及び成果

- ・今回の（仮称）毛呂山町新保育園の事業主である毛呂山町は、西川広域森林組合の区域に属し町域に森林地帯を有する。当初は町内の森林の木を使用したいという意向があったが、樹齢が若く利用可能な木材生産ができないため、**西川地域（飯能市、日高市、毛呂山町、越生町）及びときがわ町**で木材調達することを柱に検討した。